

令和元年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	文化会館事業協会補助金				
担当課	生涯学習課		課長名	上村 和彦	
事業の目的と実施内容					
目的	愛川町文化会館を利用した芸術文化事業を実施する「愛川町文化会館事業協会」に対し補助金を交付し、町民文化の向上に寄与する。				
内容・方法	文化会館事業協会に補助金を交付している。同協会は、文化会館ホールを利用し、多彩な催し物の中から町民のニーズに適合したもので、ホールの収容人員の制限、予算等を総合的に勘案して子どもから大人まで多くの町民に楽しめる催し物を提供している。催し物の内容については、「文化教養」「大衆娯楽」「子ども向け」の3ジャンルに分類し、3力年間のローリング方式で年度ごとに各分野に偏りがないように選定している。				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	一次	改善	二次	—
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
所管課の方向性に加え、引き続き他団体主催行事の誘致をメインにするなど、効果的な催しができるよう協会と協議を行うべきである。			平成29年度に実施したNHK「ふるさと自慢 うた自慢」のような他団体主催行事の誘致に引き続き取り組むなど、時代のニーズに見合った効果的な催しができるよう事業協会と協議・検討を行っていきたい。		
町の最終方針					
改善	引き続き、他団体主催行事の誘致に積極的に取り組むなど、効果的な催しができるよう協会と協議を行う。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名		時期(期限)	具体的な改善等の内容		
文化会館事業協会理事会の開催		令和2年3月	文化会館事業協会に事務事業評価結果の報告をする		
文化会館事業協会との協議・検討		令和2年9月	効果的な催しができるよう、文化会館事業協会と協議・検討を行う		
予算要求		令和2年12月	文化会館事業協会との協議結果を踏まえ、予算要求を行う		
文化会館事業協会理事会への検討結果報告		令和3年3月	文化会館事業協会へ検討結果を報告する		
他団体主催行事の誘致		通年	他団体主催行事の誘致を行う		
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一		単位	基準年度 (H30)	R1	R2
平均入場者数		人	441	410	441
目標とする成果の設定理由		多くの住民が良質の催し物に接することで、地域文化の振興につながるため			
4 経費等の見込み					
			R1(決算見込)	R2	R3
事業費(予算) 単位:千円			4,000	3,500	3,500
概算職員数 単位:人			0.1	0.1	0.1

項目名 (2 町の最終方針を実施するための具体的な方法と一致)		令和元年度				令和2年度												令和3年度											
工程名		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
文化会館事業協会理事会の開催					→																								
	事務事業評価結果の報告																												
文化会館事業協会との協議・検討					→																								
	文化会館事業協会理事会との協議・検討																												
予算要求														→															
	予算要求																												
文化会館事業協会理事会への検討結果報告																	→												
	文化会館事業協会理事会への検討結果報告																												
他団体主催行事の誘致																									→				
	他団体主催行事の誘致																												